

インсталレーションを利用したコミュニケーションにおける 想像力と柔軟性の実証的研究

日大生産工(研) ○武重 大樹 日大生産工 木下 哲人

1,はじめに

近年, Twitter, Facebook, Instagram, LINEなどのSNSの普及が, コミュニケーションをより進化させ人との接点が拡張した. その一方で, 子供の自然離れも問題となっている. 子供のスマートフォン普及率の増加や, テレビゲームなどの娯楽が多様化したことも原因の一因であると考えられる. なぜならば, 国立青少年教育振興機構が2010年に日本全国の小中高生を対象に行った調査によれば, 山登りや木登り, 昆虫 採集などの自然体験をしたことがない子供の割合が10年間で大幅に増加していることが明らかとなっている. スウェーデンの大学による調査によれば, 自然に触れる経験が乏しいまま育った場合, 他者との関わり合いが非常に苦手で, 相手を認めることをせず, 争いばかり起こす大人

が増加するという. こうした自然離れは, コミュニケーション能力の低下だけでなく, 人々の健康や生活の質を害し, 自然に対する興味や関心, 保全意識を大きく衰退させる. 自然エネルギーを感じることは, 免疫力をあげ, 病気を防ぐ効果を高めるだけではなく, 植物や生き物の多様な色彩を認識する. 土や木に触れる. 森や川, 朝や昼の匂いを嗅ぐといった行為は, 五感が刺激され感性が豊かになる. 本作品は, 自然の中に設置することで, 想像力を膨らませ, 新たなコミュニケーションを生むことを目的にした. また, 日常に起こる当たり前のようにある自然に好奇心を寄せるきっかけとなる.

2, 研究の目的

人間, 動物, 植物, 自然がつながるきっかけを作り, 想



図1 puddle模型

Empirical Research about Imagination and Flexibility in
Communication by Using Installation.
DAIKI Takeshige, TETSUHITO Kinoshita

像力や柔軟性を養い、創造性を生む。そして、問題解決能力や創造性豊かで温かい人間性“生きる力”がある子供を育て、人の幸せにつながることを目的とする。欧米諸国では、自然欠乏症候群や自然欠乏障害と言われる、自然離れが原因となるの病気が問題となっている。これらは、平面的なパソコンやスマホの画面の中や、コンクリート上での生活など、自然とかけ離れた生活を幼い頃からしていることで、五感が十分に育たない事が大きな原因となっている。本作品は、都会に住む子供が抱える問題に対しても実証的な解決策となり得る。

3.提案作品「puddle」

提案作品は、雨を楽しむためのインスタレーションである。水を使うため、作品の表面に超撥水加工を施す。超撥水とは、凹凸を施すことで生まれる撥水性によって面に 対し150°を超える接触角で水滴が接する現象のことをいう。



図2 超撥水の定義

超撥水加工を利用した作品を屋外に 複数展示することで、日常と異なる自然の体験を 可能にした。

3-1,作品コンセプト

作品のコンセプトは「子供の頃の純粋な感覚」とした。なぜならば、子供が最も動物や植物、自然とつながるための柔軟性を持っていると考えたためである。ゆえに、子供の頃の感覚を呼び覚ます行為は、自然とつながっていると感じる ことができる と考えた。本作品は、理性ではなく感性で理解するための作品である。

3-2,作品のモチーフ

モチーフは、水たまりとした。水たまりで遊ぶ という経験が子供の頃の感覚を呼び覚ますきっかけとなると考えたからである。また、自然の現象によって生まれたものにスポットを当てることで、他の現象に対しても関心を持つきっかけとなる。

3-3,制作のプロセス

水たまりの形状を単純化し、スタイロフォームで模型を作り、それをもとに超撥水塗装を施した素材(塩化ビニール)で同じ形を作る。風船のように中にヘリウムガスを入れ、浮かせる。空間を演出するため大小様々な大ききで図3サイズで6個作る。

3-4 今後のプロセス

作品を制作、設置し、体験する人を観察することでより効果的なインスタレーションの方法を検討し、設置する。

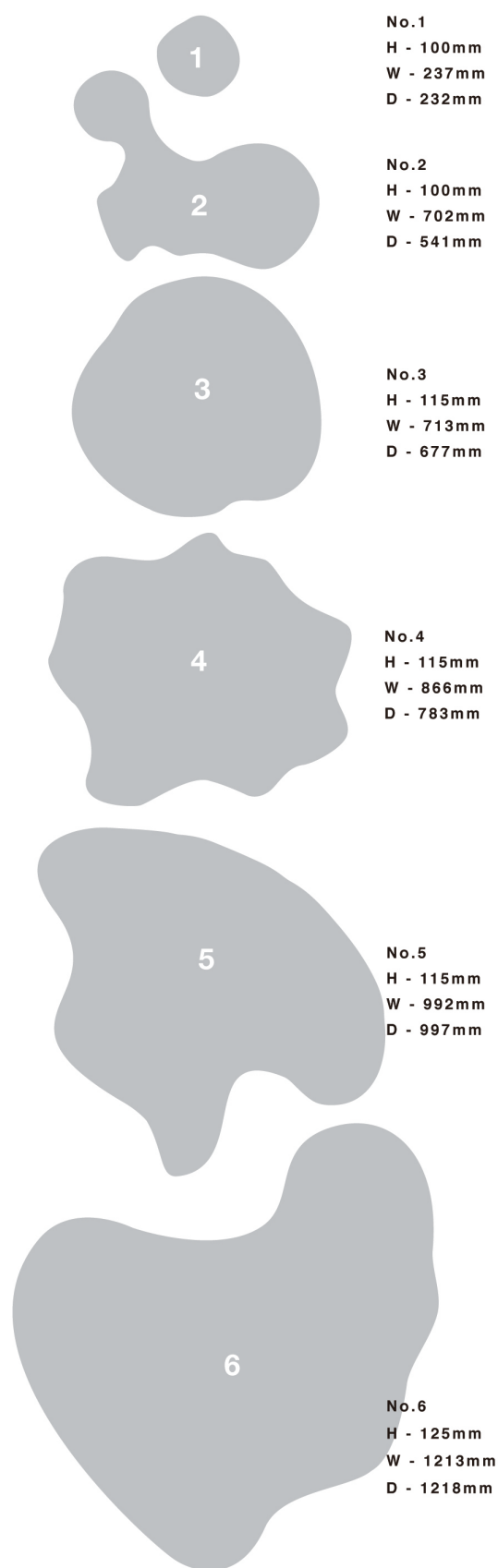


図3 制作物の形態